

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172900250		
法人名	有限会社 環境設備		
事業所名	グループホーム プランタン		
所在地	旭川市東旭川町上兵村464-1 (電話) 0166-36-3937		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成22年1月26日	評価確定日	平成22年3月24日

【情報提供票より】 (平成22年1月9日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 9月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	31 人	常勤13人, 非常勤18人, 常勤換算19.59人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3階建ての 全 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費 21,000円	
敷 金	有 ( 円) ・ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円) ・ 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

### (4) 利用者の概要 ( 1月 26日現在)

利用者人数	27 名	男性	12 名	女性	15 名
要介護1	8 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82.02 歳	最低	70 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科医院、林歯科医院他
---------	----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

旭川市郊外の東旭川地区に3ユニットの3階建ての建物として、静かな環境にあります。同じ敷地内には高齢者共同住宅やデイサービスがあり、グループの特色である「施術サービス」や「歌会(音楽療法)」の利用時に大勢の人たちと交流する機会があり、孤立することなく楽しく過ごしています。一室23畳という広さにトイレ・シャワーが設置され、居室というより一つの家として、以前の生活の延長的雰囲気の中で暮らせるように配慮されています。そのことから夫婦で暮らされている利用者も多く、自宅で介護しているようにお互いを支え合い、穏やかに暮らすことができます。管理者始め職員は、家族の目線で、「安心した生活の支援」に常に取り組んでいます。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価の運営推進会議については、出席者の検討、回数・内容についても検討されています。新たに通信の発行も開始され、担当者から情報が家族に伝えられるようになっていきます。研修にも力を入れ、利用者のために職員も意欲的です。重度化に対する仕組みも整備され、対応について継続検討されています。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価については、3ユニットの管理者がそれぞれに職員から聞き取り、その後全体のまとめとして、一つに整理しています。今後のケアに活かす大切な取り組みとなっており、今後は職員全員が関わりサービス内容についての気付きや疑問、危機管理や予測、今後の改善への取り組みに活用するよう期待します。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 家族代表・町内商店主・消防署職員・地域包括支援センター職員・医療関係者・管理者・スタッフ等を構成員として2カ月に1度開催しています。会議では活動報告や利用者の状況、質疑応答、制度説明や意見交換も行ないホーム運営に活かしています。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 職員は日頃から来訪や面会を通して家族との交流を図り、気軽に意見・要望等が伝えられるような雰囲気作りに努めています。アンケート用紙を入口に用意し、何時でも記入出来るようにしています。毎月「月刊プランタン1通信」が発行され、暮らしぶりや行事案内が載せられています。職員より一言欄が設けられ、その月の様子を手書きで記載し、笑顔の写真と合わせ興味深い内容となり、家族にも送られています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入する事で行事に参加したり、地域の方々に運営推進会議に出席を要請しています。小学校の音楽部が演奏に来ていただいたり、公民館の行事にも参加しています。利用者と一緒に近くを散歩することで挨拶の交流や顔馴染みに努めています。今年度はインフルエンザの流行もあり、交流や外出を控える事がありましたが、今後については状況を考慮し検討しています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員が一緒に作り上げた「私たちは、入居者の権利を尊重し住み慣れた地域で安心して生活出来るように支援します」と判りやすい内容になっています。理念はホーム内の随所に掲示され、心がけのひとつとなっています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念については、全体会議やユニット会議において管理者から内容を含めた説明がいつも行なわれています。職員は、日々意識する事で、理念に沿った具体的ケアの実践に活かせるように取り組んでいます。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入する事で行事に参加したり、地域の方々に運営推進会議に出席を要請しています。小学校の音楽部が演奏に来ていただいたり、公民館の行事にも参加しています。今年度はインフルエンザの流行もあり、交流を控える事がありました。今後については状況を考慮し検討しています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や目的は職員全員が理解しています。今回の自己評価については、3ユニットの管理者がそれぞれに職員から聞き取り、その後全体のまとめとして、一つに整理しています。今後のケアに活かす大切な取り組みとなっており、外部評価後の改善や次年度の取り組み方を検討しています。	○	自己評価は職員全員が関わり取り組むことが望ましく、サービス内容についての気付きや疑問、危機管理や予測、今後の改善への取り組みに活用されます。評価後は目標計画シートの活用により、課題の抽出・目標の設定・取り組み内容の検討により、確実に実践される事を期待します。

旭川市 グループホーム プランタン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族代表・町内商店主・消防署職員・地域包括支援センター職員・医療関係者・管理者・スタッフ等を構成員として、2カ月に1度開催しています。会議では活動報告や利用者の状況、質疑応答、制度説明や意見交換も行ないホーム運営に活かしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政には疑問点について問い合わせ・相談を行ったり、行政主催の研修会にも積極的に参加しています。ケースワーカーの訪問や、運営推進会議に地域包括支援センター職員が参加していただくことで、広く情報交換ができサービスの質向上に取り組んでいます。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	今年度から、毎月「月刊プランタン1通信」が発行され、暮らしぶりや行事案内が載せられています。職員より一言欄が設けられ、その月の様子を手書きで記載し、笑顔の写真と合わせ興味深い内容となり、家族にも送られています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は日頃から来訪や面会を通して家族との交流を図り、気軽に意見・要望等が伝えられるような雰囲気作りに努めています。要望については直ちに検討し希望に添えるようにしています。アンケート用紙を入り口に用意し、何時でも記入出来るようにしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最近では職員の定着率が高くなってきています。ユニット間での異動はありますが、合同交流の機会もあり、顔馴染みの職員による信頼関係でケアに努めています。離職がやむを得ない場合も管理者が責任を持って研修と引き継ぎを行ない、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしています。		

旭川市 グループホーム プランタン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ全体で重要性を認識しており、各研修に取り組み人材育成に努めています。経験や段階に応じ、機会あるごと外部研修にも参加しています。参加後も会議等で職員に報告が行なわれ、共有も図られています。職員は働きながら資格取得の機会が得られ、スキルアップの応援もしています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行政主催の研修や、グループホーム協議会主催研修を通して交流の機会を持っています。職員も研修の機会を利用し、他施設との情報交換を行ない、サービスの質を向上させていく取り組みをしています。系列グループの研修も多く開催され、共にサービスの質向上に役立てています。		
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族にホームを見学していただき、雰囲気確かめていただいています。体験入居の利用も勧め、馴染める環境作りに努めています。その後利用者や家族と面談し、希望や要望を伺い安心して入居出来るようにしています。時には、家族と協力しながら生活に不安のないように工夫しています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の中で利用者一人ひとりの経験や得意なことを見出し、役割を發揮できる支援が行なわれています。職員は共に暮らすことで生活の場を意識し、利用者から生活の知恵や味付けを教わり、話を一緒に聞く事で共感し、利用者と一緒に支え合う関係を築いています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	専用のアセスメントシートを活用し、利用開始前の生活情報や心身の状況、様々な情報収集を行ない記載しています。入居後も職員は家族の意見や、日々の暮らしの中から希望・意向の把握に努め、関わりには意欲的に取り組み利用者の生活支援に努めています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期開催される会議で、積極的に意見交換が行なわれ、計画作成者はそれをまとめ、次回の計画作成につなげています。日報の記載方法も介護計画の解決課題に連動するよう努めています。家族の意見や要望を反映し、利用者本位の計画作成に努めています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に6ヵ月に1度の見直しを行なっています。ユニット会議において経過記録や職員の意見、家族の思いを反映し、評価を行なうことで新しい計画書が作成されています。利用者の状態変化に応じて、その都度見直しを行ない、作成後には家族に直接説明し、確認後に同意をいただいています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時の対応、定期通院時の送迎や付き添い、宝くじの購入など、利用者が必要とする買物や散歩、ドライブや外食、喫茶店へ行ってコーヒータイムなど、利用者の要望に応じた多くの支援を行なっています。		

旭川市 グループホーム プランタン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員は利用者の希望する医療機関への通院に同行し、主治医への状態の報告、聞き取りを行ない家族にも報告しています。安定した状態の時には薬取り等の支援も行ない、医療連携体制で週2回看護師が訪問し健康状態の把握管理等、適切な医療支援が受けられています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今年度は、新たに重度化や終末期に向けた細かい指針が用意されており、家族と方針を共有し、同意をいただいています。関係医療機関や看護師と連携を図ることにより、今後予想される看取り・重度化・終末期の場面でも、適切に対応できるよう検討されています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者の誇りや自尊心を損ねることのないような声かけや対応を心がけています。写真の掲載や名前の表示、書類管理についても個人情報の取り扱い、プライバシー保護が徹底されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	好きなカラオケをしたり、針仕事、昔の歌を聞く、デイサービスで開催される歌会に参加したり、一人ひとりの体調や生活歴を尊重し、その人らしい生活となるよう支援しています。今後も、利用者の要望に沿った支援の継続が検討されています。		

旭川市 グループホーム プランタン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も同じ食事を会話を楽しみながら、あるいは介助しながら摂っています。祝い事や行事食を設けるなど、変化もつけています。外食の機会や鍋や焼肉など、いつもと違う食事が利用者の楽しみの一つともなっています。可能な限り自分で台拭きや片付けも一緒にしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	施設の構造上、1階の大きな浴室で週に2回入浴できる体制となっています。入浴が生活の中で、楽しみの一つとなるよう、利用者の状態に合わせて入浴支援を行なっています。体調の変化により曜日外入浴、居室のシャワー室利用など柔軟な支援もしています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の前後の片付け・掃除・買物・生活の中で趣味や役割を持てるよう支援しています。針仕事やカラオケ、ラジオ体操や広い廊下の往復で歩行訓練など、能力を引き出せるように力を入れ、その人らしく生活できる支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に沿って必要な買物や一緒に散歩など、外出の機会を多く作り、車で外食やドライブ、帰省など柔軟に対応しています。今年度はインフルエンザの影響で控えられていましたが、今後は、より多くの外出の機会が持てるよう検討が続けられています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全員が鍵をかけることの弊害を十分理解しており、施錠されていません。利用者が外出する様子が見られる時は、さりげなく声かけし一緒に出かける等、利用者の安全面に配慮した対応となっています。		

旭川市 グループホーム プランタン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時・災害時のマニュアルも整備され、消防署の協力で年2回の避難訓練が実施されています。救急救命講習・AEDの使用説明研修、想定場面での避難対応、通報訓練、地域への協力体制作りも進んでいます。利用者の安全が確保できるよう常に心がけています。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を個人別に記録しており、職員は情報を共有し、体調管理を行なっています。利用者の嗜好を取り入れた内容で、運営法人の食事部会でメニューを作成しています。利用者の病状や摂取状況に応じた減塩、とろみ、お粥、きざみ食などの対応をしています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広く、明るく装飾等も工夫され、利用者にとって快適な居場所作りに配慮しています。これまでの写真も多く掲示され、振り返りのきっかけ、語りの機会となっています。採光・暖房・気になる臭いもなく、一日を過ごす憩いの場となっています。湿度管理については、毎日確認、湿度保持に努力しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は23畳と大変広く、使い慣れた箆箆やベット、ソファや冷蔵庫が持ち込まれ、利用者のプライバシーも尊重され、安心して暮らせるような工夫をしています。以前の生活と変化なく、精神的負担を少なくする配慮がされ、夫婦で入居されている利用者も多くいます。		

※  は、重点項目。